

## 組織内コミュニケーションの醸成(課題)

リハビリテーション部内におけるコミュニケーションの円滑化を実現し、働きがいのある職場を作り上げるために3つ分野に重点を置く。

### 1. Front communication

患者様との円滑なコミュニケーションの実現

患者様に安心感を与え、信頼関係を構築するコミュニケーションスキルをすべてのスタッフが実現できる。

- a) 患者様とのラポールの構築
- b) 患者様の心理的ニーズをつかむ
- c) ファンにさせるコミュニケーション

### 2. Inner communication

常に成長を促すスタッフ間のコミュニケーションの実現 コーチングをベースとしたコミュニケーション風土を定着させ、スタッフの自己成長と組織の成長が実現できる。

- a) 多忙化した職場でのコミュニケーション
- b) 人材不足の解消、採用コスト削減
- c) 専門職に選ばれる病院(リハビリテーション部)

### 3. Buffer communication

メンタルケア対策 メンタルヘルスが必要なスタッフをフォローできる体制の構築

- a) stressfulな職場のsaftynet (Mental Health Education : MHE)
- b) 職場内メンタルヘルスケア対策
- c) 復職支援体制の在り方

結果として、患者様の高い信頼、いきいきしたスタッフが増加し、患者様が集まりスタッフも集まり、医療の質・経済性が継続的に発展する部門となる。